

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成18年10月12日(2006.10.12)

【公表番号】特表2006-500785(P2006-500785A)

【公表日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2006-001

【出願番号】特願2004-540141(P2004-540141)

【国際特許分類】

<i>H 01 G</i>	<i>15/00</i>	(2006.01)
<i>H 01 G</i>	<i>7/04</i>	(2006.01)
<i>H 01 L</i>	<i>27/04</i>	(2006.01)
<i>H 01 L</i>	<i>21/822</i>	(2006.01)
<i>H 01 L</i>	<i>27/105</i>	(2006.01)
<i>H 01 L</i>	<i>21/8246</i>	(2006.01)

【F I】

<i>H 01 G</i>	4/38	Z
<i>H 01 G</i>	7/04	
<i>H 01 L</i>	27/04	C
<i>H 01 L</i>	27/10	4 4 4 C

【手続補正書】

【提出日】平成18年8月22日(2006.8.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

強誘電特性を有する温度補償されたキャパシタ装置(20)において、

強誘電材料を有する強誘電キャパシタ(22)と、

負の温度係数のキャパシタンス材料で構成された負の温度可変キャパシタ(24)と、

負の温度可変キャパシタ(24)と強誘電キャパシタ(22)との間の電気的に直列の接続(26)とを具備している温度補償されたキャパシタ装置。

【請求項2】

電気的に直列の接続(26)は強誘電キャパシタ(22)と負の温度可変キャパシタ(24)との間の直接的な物理的接続を具備している請求項1記載の温度補償されたキャパシタ装置。

【請求項3】

強誘電材料は強誘電層(28)を具備し、負の温度係数のキャパシタンス材料は直接強誘電層(28)と面してそれと接触している常誘電層(32)を具備している請求項1または2記載の温度補償されたキャパシタ装置。

【請求項4】

強誘電特性を有する温度補償されたキャパシタの製造方法において、

第1の電極層(38)を設け、

第1の電極層(38)上に強誘電体前駆材料の強誘電体前駆物質層を付着させ、

強誘電層(28)を生成するために強誘電体前駆物質層を反応させ、

負の温度係数のキャパシタンス材料の負の温度可変前駆物質層を強誘電層(28)上に付着させ、

常誘電層(32)を形成するために負の温度可変前駆物質層を反応させ、

第 2 の電極層(40)を常誘電層(32)上に配置するステップを含んでる方法。